

日本中国考古学会 2017 年度大会・総会プログラム

開催日

2017 年 12 月 2 日（土）・3 日（日）

会場

大会・総会 : 東京大学 本郷キャンパス 法文 2 号館一番大教室
ポスターセッション : 東京大学 本郷キャンパス 法文 2 号館一番大教室前廊下

12 月 2 日（土）

12:00 開場
13:00～13:10 開会式

一般研究発表（13:10～16:50）

13:10～13:40 秦小麗（金沢大学国際文化資源学研究中心）
「新石器時代後期の黄河流域における長江系玉器の拡散」

13:40～14:10 黄川田修（台湾大学人類学系）
「洛陽“成周”所在地を巡る諸問題」

〈 14:10～14:20 休憩 〉

14:20～14:50 菊地大樹（中国社会科学院考古研究所）
「秦国の牧経営」

14:50～15:30 鄭春穎（長春師範大学東北亜研究所）
「服飾学の視座における徳興里古墳壁画の研究」

〈 15:30～15:40 休憩 〉

15:40～16:10 呂夢（金沢大学人間社会環境研究科）
「鄴城文字瓦から見た北齊造瓦手工業の工人組織」

16:10～16:40 八木春生（筑波大学芸術系）
「中宗、睿宗時期（705-712）の仏教造像の特質」

〈 16:40～16:50 休憩 〉

17:00～17:40 ポスターセッション

17:40～18:10 総会

18:30～20:30 懇親会（ルヴェソンヴェール本郷）

12月3日(日)

9:00 開場

シンポジウム「史料と資料の相克」(10:00～15:50)

10:00～10:10 趣旨説明：大貫静夫(東京大学大学院人文社会系研究科)

10:10～11:10 角道亮介(駒澤大学文学部)

「周原遺跡にみる西周都城の機能」

コメンテーター：佐藤信弥(立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所)

11:10～12:10 山本堯(東京大学大学院人文社会系研究科)

「春秋青銅器の流通と領域 —侯馬系青銅器を中心として—」

コメンテーター：土口史記(岡山大学大学院社会文化科学研究科)

〈 12:10～13:10 昼食・ポスターセッション 〉

13:10～14:10 石川岳彦(東京大学大学院人文社会系研究科)

「春秋戦国時代の燕国とその文化に関する考古学的検討」

コメンテーター：江村治樹(龍谷大学文学部)

14:10～15:10 佐川英治(東京大学大学院人文社会系研究科)

「都城制の画期をめぐる歴史学と考古学 —曹魏の鄴と洛陽の復元を中心に—」

コメンテーター：向井佑介(京都大学人文科学研究所)

〈 15:10～15:20 休憩 〉

15:20～15:50 総合討論

15:50～16:00 閉会式

ポスターセッション

掲示 : 12月2日(土) 12:30 ～ 12月3日(日) 16:00

質疑応答 : 12月2日(土) 17:00～17:40、 12月3日(日) 12:10～13:10

- 中村亜希子(奈良文化財研究所埋蔵文化財センター)

「渤海国出土紋様磚の検討」

- 長澤文彩(駒澤大学大学院人文科学研究科)

「先秦時代における”楽” —鐘・磬への検討を中心に—」

- 小林青樹(奈良大学)・宮本一夫(九州大学)・野島永(広島大学)・古瀬清秀(広島大学)
・新里貴之(鹿児島大学)・石川岳彦(東京大学)

「燕国及び齊国の弥生文化への影響と近年の新知見」

- 久保田慎二(金沢大学)・小林正史(北陸学院大学)・宮田佳樹(金沢大学)・劉斌(浙江省文物考古研究所)・王寧遠(浙江省文物考古研究所)・陳明輝(浙江省文物考古研究所)・中村慎一(金沢大学)

「良渚文化における煮沸器の使い分けに関する初歩的考察」

- 朝倉一貴(國學院大學文学部)・大日方一郎(國學院大學大学院文学研究科)

「秦直道路線の最小コスト分析からみた一考察」